



事業実績報告書

様式2
(2019年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B53	講座名	むしこぶメガネで森たんけん
記載日	2020/3/25	団体名・企業名	りとるらぼ
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>手に触れたときの優しさと温もり。木の道具は暮らしに安らぎを与えてくれます。様々な樹種の木材を学んだあとで、実際の樹木を観察する。クスノキ材を切ってけずってルーペをつくり、森へ探検に出かけます。自分で作った「世界にたった一つのルーペ」で、クスノキの葉にできたダニ室（仮に「むしこぶ」と呼びました）を観察し、自然の不思議を考えます。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
2/1 第1回 関百年公園レストハウスにてクス材とレンズを貼り合わせている		2/8 第2回 関百年公園レストハウスにて見本を首からさげて完成を想像する子ども	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>これまでの創作活動では作品のクオリティに関して多少の妥協がありました。子どもが作るものだからとか、時間がないことを言い訳にして。人と自然を繋ぐのであればそこを妥協せず、高いクオリティのものを時間をかけて仕上げ、永く大切に扱うことで大切なことを学べるようになると考えました。環境教育に長けた木工作家を迎えられたのが大きいです。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ひたすら磨き続けるなんて時間は、とても贅沢に思えた ・削られたクスノキの木粉が芳香がして癒されました ・作業に入る前に、外で樹木の勉強ができたのが良かったです ・樹種によって材木の色や艶、触感が全く違うことを気づけた ・子どもと同じ作業、同じ苦労が体験できてまるでライバルのようだった 			